１．活動の概要

６月５日（木）大田市立北三瓶小学校で６年生のみなさんと『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

前半は、大田市内にある古墳時代・奈良時代の遺跡をテーマにした話を聞いたり、大田市内で出土した土器をさわってみました。大きな土器を手に持って、すすの付いた部分に気づくと、煮炊きに使用した土器であることが判り、古代人の息吹を感じたようでした。

後半は、奈良～室町時代のお金の話を聞き、低融点金属を使用した昔のお金造りに挑戦しました。3 人と 2 人の二班に分かれ、コンロで熱した低融点金属を鋳型に流し込みます。低融点とはいえコンロで熱せられた金属におっかなびっくりの児童も・・・。協力して造ったお金にみんな大満足。小雨の降る蒸し暑い日でしたが、楽しい１日でした。

２．活動の様子

最初に、大田市内の遺跡や、大田市内の遺跡から出土した土器などの話を聞きました。

昔のお金造りに挑戦です。ゴムバンドを使って鋳型を固定します。緩いと溶けた金属が漏れ出すこともあるので、みんなで協力してしっかりと固定。

コンロで熱して溶けた低融点金属を鋳型に流し込みます。熱いのでおっかなびっくり・・・。

鋳型からはみ出た金属をやすりで削り落とします。みんな真剣です。

やっと完成！